

「シンカ」し続けるまちへ

暮らしを高め、共創で希望(ゆめ)を拓く予算

皆さま、こんにちは。さいたま市長の清水勇人です。

新年度予算案などを審議する令和8年さいたま市議会2月定例会が2月3日に開会しました。会期は3月12日までの38日間です。

初日は本会議の冒頭、私から施政方針演説を行い、令和8年度の市政運営の基本的な考え方や、主要な施策についてご説明しました。

■一般会計は7160億円と過去最大に

今定例会に提出した議案は、予算議案や条例議案など計104件です。一般会計は、前年比1.8%増の7160億円。一般会計に特別会計と企業会計を加えた全会計の予算総額は、前年度比2.9%増の1兆2千億円となり、いずれも過去最大の予算規模となりました。議会で慎重なご審議をいただきます。



【プロフィール】

昭和37年3月25日生まれ
平成21年5月～さいたま市長
現在5期目。ほかに指定都市市長会副会長、さいたま市社会福祉協議会会長、日本サッカーを応援する自治体連盟会長など
趣味はマラソン、手話ダンス、茶道
ラーメン、スイーツが大好き
座右の銘は「素志貫徹」



◆ 災害に強く安全・安心な都市

激甚化する災害に備え、橋や下水道の耐震化、河川改修、雨水対策を強化。避難所環境の充実や個別避難支援、防犯カメラの整備推進など。

◆ さいたま市らしさの深化

新庁舎整備や浦和駅・大宮駅周辺のまちづくり、地下鉄7号線延伸に向けた取組を推進。公園整備や脱炭素の取組、盆栽やスポーツなど地域資源を次世代へつなぎます。

◆ 誰一人取り残さない地域共生社会

小学校給食費の無償化、いじめ問題救済委員会の設置、不登校支援や特別支援教育の充実。高齢者、障害のある方、生活に困難を抱える方への伴走型支援を強化。

◆ DXと共創で暮らしを便利に

「さいたま市みんなのアプリ」や「書かない窓口」の推進、地域交通や自動運転の実証などを拡充。

プレミアム率50% デジタル商品券 申し込み受付中!

4月10日まで「さいたま市みんなのアプリ」で受け付けます ※先着順ではありません